

| | | | | |
|---|--|------|------|------|
| 平成 24 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス | | | | |
| 教科目名 | 木質構造 | 担当教員 | 柴田良一 | |
| 学年学科 | 3年 建築学科 | 後期 | 必修 | 1 単位 |
| 学習・教育目標 | (D-2) 100% | | | |
| 授業の目標と期待される効果： 木材の特性を十分に理解して、耐震性能の診断方法を学習し、安全で合理的な木構造を設計するための知識を習得し、3段階の耐震診断手法を活用する能力を身に付ける。 木構造の概要を理解する 木質構造部材の特性、接合方法を習得する 耐震設計法の概要を理解する 耐震診断手法を習得する チェックシートを作成する 木造耐震補強手法を習得する | 成績評価の方法： 定期試験2回(200点) + 課題提出2回(100点) 試験と課題を合計し、総得点率で評価する | | | |
| | 達成度評価の基準： 講義で説明した耐震診断手法に関して、試験と課題を用いて達成度を把握する。 壁量計算の意味と手法を正確に理解する(6割) 耐震診断手法の計算手法と評価を正確に理解する(6割) 耐震補強の方法を理解する(6割) | | | |
| 授業の進め方とアドバイス： 授業は、教科書と板書を中心に行うので、各自学習ノートを充実させること参考となる資料に授業計画を示すので、予習を必ずおこなうこと材料力学と構造力学の知識が必要なので、十分復習しておくこと | | | | |
| 教科書および参考書 日本建築センター 編 ひとりで学べる木造の壁量設計演習帳 | | | | |
| 授業の概要と予定：前期 | | | | |
| 第 1 回：木構造の概要，講義計画、各種設計法の説明 | | | | |
| 第 2 回：木質構造部材の特性・接合方法と特性 | | | | |
| 第 3 回：木造住宅の基礎 | | | | |
| 第 4 回：木造住宅と地震 | | | | |
| 第 5 回：耐震設計法の概要 | | | | |
| 第 6 回：耐震設計法の演習 | | | | |
| 第 7 回：耐震設計法のパソコンを用いた演習 | | | | |
| 第 8 回：中間試験 | | | | |
| 第 9 回：耐震診断の概要 | | | | |
| 第 10 回：既存戸建住宅の耐震性の評価 | | | | |
| 第 11 回：既存軸組構造住宅の耐震診断 | | | | |
| 第 12 回：既存軸組構造住宅の耐震診断の演習 | | | | |
| 第 13 回：木造住宅設計のためのチェックシート作成 | | | | |
| 第 14 回：木造住宅の補強手法 | | | | |
| 第 15 回：木造住宅の補強手法の適用 | | | | |
| 期末試験 | | | | |
| 第 16 回：フォローアップ (試験解答の解説と評価方法の説明) | | | | |